

緑化センター みにがいど No.16

地球温暖化防止に一役

屋上庭園



今、地球の温暖化防止の取り組みが急がれていますが、都市の気温が上昇するヒートアイランド現象の対策や建物の断熱効果に期待が寄せられているのがビルの屋上緑化、屋上庭園です。

緑化センターにも学習展示館の屋上に庭園が造られています。できてから20年以上経過した今では屋上に造られていると気付かない人もあるほど立派な緑の空間になっており、春には桜も咲きますので、ぜひご覧になってください。

屋上庭園

屋上緑化・屋上庭園による気温上昇の抑制や建物への断熱効果、さらには目にやさしい“いやし効果”などが、今期待されています。

しかし、屋上に植物を育てるには様々な問題を解決しなければなりません。

- ① 植物、土壌、土壌に含まれる雨水等の重量に、建物の屋根が耐えられること。土壌等には軽い材質のものが使われますが、軽すぎても風で飛ばされてしまいます。
- ② 植えたものが強風で倒れたり、飛ばされないように支保がしっかりしていること。
- ③ 排水処理がきちんとされていること。施工時はもちろん、排水口の掃除など後の管理を怠ると雨漏りしてしまいます。

緑化センターの屋上庭園は昭和55年度に造られたもので、土壌には人工的に造られた軽い資材2種類と押さえのための真砂土が、また石組み(景石)には軽石を使ってあります。樹種はコウヤマキなど8種類の高木とサツキなど7種類の低木、コウライシバ、コグマザサが使われています。

コーヒーで一息入れませんか
緑化センター レストハウス